

第70回 青雲塾報告

<https://www.seiunkai.net/kouryu/seiunjuku/list.html>

青雲塾担当 松井繁幸（第23期）
西尾公一（第25期）

遣唐使の記憶を巡る

1. 開催日時 2月27日（土） 午前10時00分～

2. コース

10:00 西大寺駅 → 10:15 平城宮第一次大極殿 → 10:45 海龍王寺 →
11:15 東院庭園 → 11:35 朱雀門ひろば(復元遣唐使船等) →
13:00 西大寺駅 (解散)

3. 集合場所

近鉄大和西大寺駅中央改札口前

4. 会費 500円 (海龍王寺拝観料)

5. 講師ガイド 沖田拓司 昭和53年入学(青雲会 第30期)

奈良商工会議所認定「奈良まほろばソムリエ」。

学生時代は考古学研究会に所属。現在はNPO法人奈良まほろばソムリエの会員として歴史探訪グループ記紀万葉サークルに所属しながら奈良を訪ね歩き、各方面からの要請に応じ奈良案内をする活動を実施している。

6. 講師から

古代律令国家完成の為に派遣された遣唐使は日本史上有名ですが、その実態は一般には広く知られていません。奈良平城宮こそがその苦難の航海の出発とゴールの地でした。短い時間でしたが、平城宮周辺に点在するゆかりの地や観光施設を巡り、遣唐使の時代の複雑な政治状況、新羅や渤海も含めた外交関係、そして遣唐使にかかわった人たちの人生ドラマを少しはご紹介させて頂けたかと思います。2月にしては天候や気温に恵まれたのが何よりでしたし、道中に先輩方の貴重なお話も伺えて有意義な1日となりました。

7. 青雲塾担当から

沖田副会長が、詳細な冊子まで作成して、講師として平城宮を中心に案内されましたが、ショッピングセンターの遺跡表示や、銀行敷地内の遺跡の案内などもありました。参加者から「奈良に住んでいても知らないことばかり」との感想があり、沖田副会長の歴史造詣の深さに参加者全員が感服していました。当日はコロナ対策として、マスクをして屋外での開催でしたが、快晴で暖かく春のよううらかな天候に恵まれました。(西尾)

8. 写真

